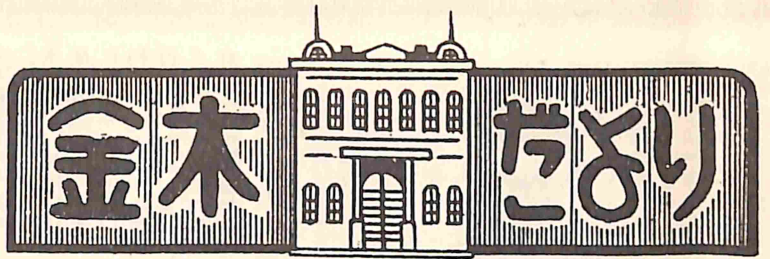


## 町の人口と世帯数

人口	男	7,347
	女	7,468
	計	14,815
世帯数		3,605

(S49. 7. 31現在)



発行 青森県金木町役場 編集 企画室



## 健康な体と心を養おう

### 第10回 青森県スポーツ少年大会

去る八月九日から十二日まで、四日間にわたり、青森県体育協会、青森県スポーツ少年団本部、青森県教育委員会、金木町教育委員会が主催のもとに、金木町立金木小学校、金木中学校および芦野グラウンドにおいて、第十回青森県スポーツ少年大会が開かれました。

この大会は、次代になう青少年のスポーツ振興と健全育成事業の一環として、県内各市町村スポーツ少年団リーダーが一堂に会し、スポーツ活動の研修を通して、健康・奉仕等の望ましい習慣を形成するとともに、県内外団員との交歓の実をあげ、リーダーおよび、団員としての自覚と誇りを高めることを目的としたものであります。

この大会には、名誉大会長である県教育長をはじめ、名誉副大会長（金木町長）、会長の県スポーツ少年団本部長、顧問の県知事（代理）、大会委員長（県体育協会理事長）、金木町スポーツ少年団本部長（田中豊蔵）のほか、多数の役員、リーダー、団員を合わせて十六団、二百五十名が参加し、盛会に行われました。

また、日本スポーツ少年団本部長藤井丙午（代読）からは次のようなメッセージがありました。

メッセージ

本日ここ、金木町芦野グラウンドにおいて開催されます第十回青森県スポーツ少年大会の開催を心からお喜び申し上げます。

次代にない手である青少年の皆さん、本大会の「スポーツ活動、文化活動、あるいは集団生活」をとおして交流を深め、友情を築き、更に研修をふまれて一層の活動をなされるよう希望します。

最後に、この大会をここまで導いて下さった地元金木町、県本部、自衛隊に対しまして心から敬意と感謝を捧げてメッセージいたします。

昭和四十九年八月九日

日本スポーツ少年団本部

本部長 藤井 丙午

# 就任三ヶ月を顧みて

金木町長 大橋忠勝

緑濃く一段と暑くなって参りましたが、町民の皆さんには益々事故や健康に御注意せられ、この夏を無事に過ぎられるよう衷心よりお祈り申し上げます。

さて私が町長就任以来、早くも三ヶ月過ぎましたが、これまでの皆様方より寄せられた御協力に更めて感謝申し上げます。

実際に勤務致しまして、現今金木町は、「難問題山積」の一語に尽きる感があります。今後幾十年にわたり、三十億円以上の町債、利子をどのように償還、支払って行くかが勿論一番の大問題であります。現在数百個所にわたる町有地の整理と維持管理が全くなさ



れていないための侵害放題に放置されている点、併せて金木町は質的、金銭的に日本一のヒバ美林を抱えておりながら、財政的にかく困窮の極致にある点、また、大昔からこの上なく恵まれた観光資源や、果てしない原野、畑地を保有しながら、只々手を拱められているのみで、之れ等膨大な土地、資源を見直し、開発線上に乗せなければいけない等、難問題が山積で容易に解決できません。

しかし、単に手をつけられぬ問題が大き過ぎるではなくて、今こそ勇断を以ってこれが解決。資源発掘の為に一層の努力すべく覚悟をあらたにして居ります。

とは言え、現在助役、収入役も空席で、町民各位にはお詫びの仕様もございませんが、早急にこれが機構を全うし、町民の御要望に応えたいと考えております。

あくまでもガラス張りとし、安易な妥協や裏取引のない町政を、一点のくもり、汚職のない金木町政を、今後其勇断を以って推進することを町民各位にお誓い致します。

長期的展望の上に立脚し、身を賭してこの窮迫せる金木町再建のために邁進致したいと考えております。

## 昭和49年度

# 当初予算決まる

## 第68回町議会定例会

去る六月二十二日から二十九日までの八日間にわたって開かれた第六十八回町議会定例会は、町長改選時期に当り、年度当初四、五、六の三カ月の暫定予算切れを控えて招集したものであります。この定例会では、継続費繰越計算書報告の件（これは、四十八年度から三カ年の継続事業である喜良市小学校改築工事及び、二カ年継続の金木町中央公民館建設工事の昭和四十九年度に繰越す分について、議会に報告するもの）をはじめ、昭和四十九年度一般会計予算など十四件が提案され、いずれも原案どおり可決されました。

したがって、昭和四十九年度一般会計予算の総額は十二億四百九十二万一千円の予算規模となりました。これを昭和四十八年度の当予算に比べると五四・七%、最終予算でも二七・三%の増となっております。他の市町村予算規模の伸び率をはるかに上回っている状況です。総額の三割は人件費、事業費に約四億二千五百万円、これは、年を追うごとにその割合を強める給与改訂による人件費の著しい増加、狂乱とまでいわれている物価による物件費や建設工事費の大巾な増加がある半面、これをまかなう歳入は、町税や、国、県の支出金、あるいは、地方交付税にしても、それほど大巾な伸びが期待できない状況にありながら、各種の行政需要を満たしてゆかなければならないことから、昭和四十九年度の予算編成は非常に困難な状態に直面したわけですが、およそ十三億円の予算要求を色々検討し、査定の結果、総額十二億四百九十二万一千円の予算規模となつたわけですが、

以下、科目別の内容について主なるものをあげれば次のとおりです。

**総務費**  
1億6,732万5千円

### 小田川地区ほ場整備調査

### 計画費補助に三百二万円

交通安全  
対策施設 へ 九十五万円

げれば次のとおりです。

### 総務管理費

総額一億六千七百三十二万五千円の総務費は、喜良市小学校改築工事費、中央公民館建設費などでトップになっている教育費に次いで大きなウエートを占めています。これは、総務課、企画室、税務課町民課など、三課一室の大世帯の予算をかかえているからであります。これを項目別に主なものをあ

- ① 一般管理費 八九、九一四千円
- 職員給料のほか、職員共済組合退職組合など職員関係の負担金をはじめ、各種負担金一千七百五十万円などが主なものです。

②文書広報費 六一九千円  
 広報紙、金木だより、年七回発行の印刷代四十九万円、写真、フィルムなどです。

③財政管理費 一五千元  
 消耗品費

④会計管理費 一八〇千円  
 印刷製本費、公金取扱手数料など。

⑤財産管理費 一〇、三三〇千円  
 この予算の大部分は、役場庁舎の維持管理費で、その主なものは燃料費(暖房用重油、ガス、自動車のガソリン代等)二百三十五万二千円、電気料や電気保安委託料の光熱水費が九十万円、電話料二百四十万円、火災および自動車の保険料百五十五万五千円、庁舎、浄化槽清掃委託料、エレベーター保守料など二百五十七万七千円

⑥企画費 四、二八七千円  
 総合計画審議委員、郷土史編さん委員、農村工業導入促進対策審議委員報酬二十三万四千円、郷土史編さん監修謝礼十万円、郷土史筆耕翻訳料二十万円、西北五地域広域市町村圏協議会へ十四万四千八百円、自然休養村協議会へ一万五千円、小田川土地改良促進協に二十万円、津軽総合開発促進協は五万円、津軽環状鉄道建設期成同盟会に七万円などの負担金、そのほか、県宮小田川地区園場整備調査計画費補助金として三百二十千円が主なもの。

⑦自然休養村整備事業調査費 三九八千円  
 運営委員報酬、現場調査手付人夫賃、費用弁償、普通旅費、消耗品費のほか、全国自然休養村協議会負担金三万円等。

⑧公平委員会費 六千元  
 ⑨自治振興費 一五〇千円

⑩交通安全対策費 三、三二四千円  
 交通安全施設工事請負費(ガードレールほか)九十五万円、六人の婦人交通安全整理員(緑のおばさん)の報酬百三十五万円、旅費、被服費など三十六万七千円のほか、金木交通安全協会への補助金五十九万六千円が主。

**徴税費**

①賦課徴収費 二九、五三五千円  
 税務職員の給料、諸手当、共済組合負担金等が二千五百五十八万五千円、納税貯蓄組合に対する報償金(納期内完納5%、年内完納3%)二百三十万円、その他は旅費、需用費、負担金等

**戸籍住民登録費**

①戸籍住民登録費 一七、七八六千円  
 職員給料、諸手当、共済組合負担金、旅費、消耗品および印刷費などの経常経費。

**選挙費**

**監査委員費**

①監査委員費 二、三八八千円  
 委員報酬、職員給、諸手当、共済組合負担金等の人件費。

**民生費**  
 1億5786万4千円

**保育所に約六千五百万円**  
 児童館 三、三五〇万円 (老人医療)  
 二、三〇〇万円 (児童手当)

民生費一億五千七百八十六万四千円の主なるものは、職員の給料諸手当、共済組合負担金等のほか保育所、児童館にかかる経費が約六千五百万円と大きく、次いで、老人福祉対策関係の老人医療、老人クラブ補助などとなっております。

**社会福祉費**

①社会福祉総務費 二〇、三一八千円

(単位 千円)

款	本年度		前年度		比較
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	
町 税	118,527	9.8%	101,676	13.1%	16.851
自動車重量譲与税	10,000	0.8	7,305	0.9	2,695
自動車取得交付税	12,000	1.0	6,600	0.8	5,400
地方交付税	556,213	46.2	436,556	56.1	119,657
交通安全対策特別交付金	926	0.1	600	0.1	326
分担金および負担金	8,733	0.7	6,728	0.9	2,005
使用料および手数料	10,003	0.8	8,636	1.1	1,367
国庫支出金	189,153	15.7	97,585	12.5	91,568
県支出金	40,053	3.3	38,646	4.9	1,409
財産収入	26,551	2.2	2,325	0.3	24,226
寄附金	0		0		0
繰入金	0		5,000	0.7	△ 5,000
繰越金	0		0		0
諸収入	15,960	1.3	14,516	1.9	1,444
町 債	216,800	18.1	52,400	6.7	164,400
計	1,204,921	100.0	778,573	100.0	426,348

(歳入)

職員給料、共済組合、退職組合の負担金一千六百二十三万円、街灯修理七十万円、光熱水費百八十万円、民生委員保護世帯調査委託料五十四万円、県および郡関係の各種団体への負担金、補助など四十八万三千円、施設収容者、長期療養者助けあい資金十五万円等。

②身体障害者福祉費 六四四千円

身障者福祉大会補助三万円、身障者スポーツ大会補助五万円、身障者医療扶助費五十五万九千円。

③老人福祉費 四〇、〇九一千元

報酬(老人家庭奉仕員)八十八万八千円、職員給料などのほか、長寿年金三十万円、委託料として老人医療請求診査支払手数料十八万五千円、ねたきり老人訪問診査六万円、老人福祉大会十五万円、補助として、老人クラブへ百九十九万三千円、老人白内障手術補助十五万円、老人クラブ連合会補助五万円、特別養護老人ホーム負担金三十万円、扶助費として老人医療

に三千三百五十万円となつていま  
す。  
④防犯対策費 一六五千元  
金木町防犯協会補助三万円、金  
木地区防犯協会補助十三万五千  
⑤保健福祉館運営費 五〇千元  
燃料費、光熱水費、修繕費の需  
用費が五万円。

### 児童福祉費

#### ①児童福祉総務費

一、〇九二千元

保育所運営委員報酬二万七千元  
新入所児童安全帽十六万七千元  
旅費、需用費で五万円、負担金と  
して、学校安全会負担金二万四千  
円、津軽地区保育所研究会(二万  
八千元、県児童館連絡協議会に六  
千元、精薄施設負担金七十八万円  
②母子福祉費 二〇千元  
母子福祉大会出席助成金二万円

#### ③保育所費

五五、八六二千元

職員給料、諸手当、共済組合負  
担金など四千五百三十七万一千  
医師謝礼、母子旅行、徴収謝礼な  
どの報償費二十三万円、需用費の  
八百八十二万九千円は、保育消耗  
品二百五十八万円、食糧費、印刷  
費で八万円、光熱水費十四万四千  
円、燃料費は給食用、暖房用とも  
で七十二万円、給食原材料五百五  
十七万七千元、修繕費の三十二万  
です。役務費として通信運搬費十  
二万円、汚物汲取料、洗たく料な  
どで九万四千円、備品購入費に第  
一から第四まで合せて六十三万円  
児童災害見舞二万五千円となつて  
います。

#### ④季節保育所費

三一一千元

保母賃金二十万四千円、需用費  
は、おやつ代、燃料費、消耗品費  
で十万七千円で。

⑤児童館費 八、七八七千元  
保育所費同様、職員給、諸手当  
などが主で、そのほか、報償費八  
万円、旅費二万円、消耗品費五十  
九万六千円、燃料費十八万円、間  
食代六十九万円、修繕費の十七万  
円、役務費十万円、備品購入費十  
万円等。

#### ⑥児童措置費

二二、九五二千元

旅費三万円、消耗品費、印刷費  
で二万円、児童手当の扶助費が二  
千二百九十万二千元。

### 衛生費

3,649万0千円

## 負担の大きい事務組合

西北五衛生処理組合の  
運営費、建設費などで

一部事務組合の公立金木病院の  
負担金七百六十三万二千元同西北  
五衛生処理組合負担金一千三百七  
十二万二千元などが主なものです

### 保険衛生費

①衛生総務費 一九三千元

賃金、旅費等で七万円、献血推  
進委託料九万円、消耗品費、食糧  
費が三万円等です。

#### ②予防費

三、五七八千元

報償費(予防接種医師、看護婦  
六十万円、ワクチンおよび消毒  
薬品等百三十六万円、結核検診委  
託料四十万円、成人病検査委託料  
七十二万円のほか、寄生虫検査、  
尿検査、心臓検査、循環器疾患等  
健康診断の委託料として三十六万  
八千円等です。

#### ③環境衛生費

七〇一千元

⑦遺児対策費 六三五千円  
遺児の激励金、入学祝金、卒業  
祝金、弔慰金などです。

### 国民年金事務取扱費

①国民年金事務取扱費 六、九三七千元

職員給料、諸手当等のほか、納  
入組織報償金の報償費百六万四千  
円、旅費八万円、消耗品費、印刷  
製本費等の需用費二十二万五千円  
県国民年金協会負担金二万二千元

火葬用燃料および修繕料二十三  
万円、原材料費として駆虫剤代  
四十万円が主なものです。

#### ④母子衛生費

一、〇三八千元

報償費(乳児検診、妊婦検診医  
師、看護婦)十八万円、産婦、一  
般妊婦ミルク代六十一万一千円、  
妊婦腹帯十六万円が主

#### ⑤病院整備費

七、八三二千元

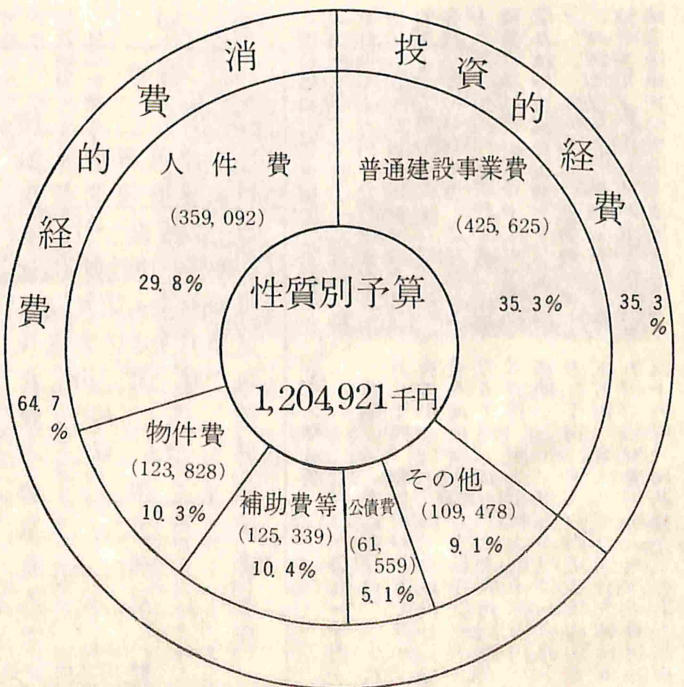
公立金木病院負担金七百六十三  
万二千元、県進学学院振興会負担  
金二十万円。

### 清掃費

#### ①清掃総務費

一九、七七五千元

職員給料、諸手当、共済組合負  
担金六百五十三万三千円、西北五衛生  
処理組合負担金一千三百七十二万  
二千元(運営費七百一十三万三千円、



### 労働費

91万5千円

#### 労働諸費

①労働諸費 九一五千元

出稼ぎ者大会及び留守家族  
大会講師謝礼二万円、出稼ぎ者連  
絡袋消耗品代二十万円、出稼ぎ先  
新聞購読料及び同発送経費二十三  
万八千円、出稼ぎ先連絡用郵券代  
及び電話料三万円、出稼ぎ機関紙  
かけ橋、助成金三万円、県失業  
保険連絡協議会負担金二万五千円

建設費六百七十九万九千円)です。  
②塵芥処理費 三、三六四千元  
収集人夫賃百四十二万四千円、  
修理、燃料代八十四万円、ゴミ収  
集袋百十万円。

出稼ぎ労働組合助成金二万四千円  
失業保険認定事務負担金二十四万  
一千円等が主です。

②安全就労推進事業費 五七八千元  
相談指導員報償金(二、一〇〇  
円×九人×一〇ヵ月)十八万九千  
円研修会及び旅費二万八千円、安  
全就労推進集会費五万円、留守家  
族集会費二万五千円、健康診断実  
施費三万六千円、指導資料作成費  
十六万円、食糧費三万円、通信運  
搬費六万円が主となっています。

#### ③出稼ぎモデル事業費

二二〇千元

就労先実態調査旅費十二万円、  
普通旅費一万円です。

**農林水産業費**  
8,216万7千円

国土調査  
測量委託料に  
一千二百八十万円

農業改良普及所新築工事  
七百二十万円の

農林水産業費は、農業改良普及事務の新築工事をはじめ、良質米生産集団促進対策助成および、休耕田復元補助、国土調査測量委託料一千二百八十七万六千円のほか、農免道路整備促進費などが中心となっています。

**農業費**

- ① 農業委員会費 一五、六八〇千円  
委員報酬、職員給料、諸手当、共済組合負担金等で二千七百五十一万六千円、報償費(農業大学、就業相談員等)、旅費八十一万七千円、需用費五十九万二千円、各種団体負担金二十八万八千円が主です。
- ② 農業者年金事務取扱費 五〇千円
- ③ 農村開発公社委託事務取扱費 七〇千円

- ④ 農業総務費 二四、五六七千円  
人件費が主で、それに各種団体の負担金が百二十六万五千円です
- ⑤ 農業振興費 八、九四三万三千円  
良質米生産者表彰記念品代十五万円、消耗品費、食糧費のほかりんご三病予防関係消耗品および食糧費四万円、農業安全管理センター光熱水費、燃料費で七十五万円、りんご黒星病及びふらん病樹伐採委託料二十五万二千円、りんご基幹青年研修委託料五万円、各

種団体の負担金及び助成金等八百十五万九千円が主

- ⑥ 畜産費 一、四二三千円  
各種協議会負担金をはじめ、乳用牛家畜共済保険料助成五万四千円、畜産振興対策助成(養豚、養鶏、酪農、養兔、肉用牛の各組合)九十四万三千円、七夕野、女坂早地開発事業利子補給及び補助二十七万三千円などが主。
- ⑦ 農業振興地域整備促進費 四〇千円
- ⑧ 米生産調整対策事業費 三、四一五万五千円  
職員時間外手当、旅費、需用費

**商工費**  
2,864万7千円

商工業者の資金借入を保証  
公園整備に五百二十万円の

- 町の商工業者が資金借入する場合の保証金として県信用保証協会へ出資金一千万円をはじめ、公園整備事業費に五百二十万円、金木町観光協会へ五百四十万円の補助が主なものです。
- ① 商工総務費 四、三五六千円  
職員給料、諸手当、共済組合負担金

- ② 商工振興費 一一、二三〇千円  
商工会助成百万円、たばこ小売店組合助成七万円、労務対策協議会助成十万円、県信用保証協会出資金一千万円
- ③ 観光費 一三、〇六一千円  
公園看視人賃金、公園整備人夫賃等八十六万三千円、動物園飼料代、光熱水費、動物収容舎などの修繕料および遊歩道、駐車場補修費の需用費が六十四万六千円。公園整備工事請負費五百二十万円

**林業費**

- ① 林業総務費 三、〇二四万四千円  
職員給料、諸手当等が主で、森林火災及び盗伐防止委託料二十万円、野兎駆除助成四万五千円、県林野対策協議会負担金十二万五千円など。

- ⑨ 生活改善センター管理運営費 一、四八八千円  
人件費が主で、二十五万円の需用費等。
- ⑩ 国土調査事業費 二二、八六七千円  
人件費のほか、需用費七十万一千円、測量委託料一千二百八十七万六千円、調査図保管庫などの備品購入費二十二万四千円が主。
- ⑩ 農免道路整備促進費 六〇〇千円

(歳出)

(単位 千円)

款	本年度		前年度		比較	本年度財源内訳		
	予算額	構成率	予算額	構成率		特定財源 国支出	起債	一般財源 その他
議会費	30,495	2.5%	23,329	3.0%	7,166			30,495
総務費	167,325	14.0	136,608	17.6	30,717	3,433		163,892
民生費	157,864	13.1	120,403	15.5	37,461	87,706	9,323	60,835
衛生費	36,490	3.0	24,389	3.1	12,101	875	1,650	33,965
労働費	1,703	0.1	1,663	0.2	40	577		1,126
農林水産業費	82,167	6.9	82,316	10.6	△ 149	15,289		66,878
商工費	28,647	2.4	22,608	2.9	6,039	2,500		26,147
土木費	142,651	11.8	106,930	13.7	35,721	33,808	45,200	63,643
消防費	60,488	5.0	51,198	6.6	9,290			60,488
教育費	401,760	33.3	147,486	18.9	254,274	85,020	171,600	145,140
災害復旧費	0		0		0			
公債費	61,589	5.1	45,100	5.8	16,489			61,589
諸支出金	31,742	2.6	15,043	1.9	16,699			31,742
予備費	2,000	0.2	1,500	0.2	500			2,000
計	1,204,921	100.0	778,573	100.0	426,348	229,208	216,800	10,973,747.947

**土木費**  
1億4,265万1千円

五十四百五十七万円で  
町営住宅建設 (三十戸)  
道路 一千万円  
舗装 一千万円  
広域行政圏 道路整備費 一千二百万円

肥料、農薬、砂利、苗木等の購入 担金四万円、金木町観光協会補助費五十八万五千円、各種団体の負担 五百四十万円。

土木費では、ブルドーザー、ダンプカー(四トン)の購入費六十三万円、側溝整備費八百五十万円、事業(大東ヶ丘線)一千三十万円、町営住宅建設費五千四百五十七万円、道路舗装 一千二百万円